

# 分大附特スタイル授業研究会



## 授業者

## 参加者

事前にすること

### 【学習指導案の作成・授業準備】

- ・第八次研究の取組を反映した学習指導案を作成する
- ・指導案記述要領、指導案様式に沿って作成する
- ・学部主事、研究部に相談しながら指導案の作成を進める
- ・授業の2日前までに指導案を配布する

### 【授業に臨む】

- ・必要に応じ、研究部はビデオ撮影する

### 【協議の柱の検討】

- ・事後研の司会者を中心に、授業者、学部主事が協議の柱について事前に話し合い、仮の柱を設定しておく

### 【授業者の参加の仕方】

- ・グループ協議中は、各グループを回り、質問をされれば答える
- ・改善案について、参加者と意見交換を行う

### 【授業改善に向けて】

- ・グループからあげられた改善案の中から実施できそうなものを選ぶ
- ・指導・助言を聞き、本校の指導の考え方を再度確認する

※授業事後研究会の進め方や内容については、  
「分大附特スタイル授業研究会 事後研究会編」参照

※令和元年度の実践事例についてはHPに掲載

### 【改善授業の成果反映】

- ・授業の評価を個別の指導計画に記載する
- ・めあての変更があれば、個別の指導計画の該当部分を修正する

### 【指導力の向上】

- ・実践の工夫点と成果を実践事例にまとめ、報告する
- ・実践の報告を通して、本校の指導の考え方の理解の程度を確認する

授業事後研究会の流れ

事後にすること

## 学習指導案

## 授業

## 事後研前の協議

## 授業についての 共通理解

## 協議の柱の設定

## グループ協議

## グループ発表

## 授業改善の方向の 共有

## 指導・助言

## 改善授業

## 実践報告会

### 【授業参観の視点づくり】

- ・事前配布された指導案を読み込み、授業構想の工夫点から、実際はどのような支援をするのか、自分ならこう支援をするかな、この意図は授業者に聞いてみたいなど、授業参観の視点を持つ

### 【授業参観での活動】

- ・前後半に分かれて参観する  
(研究部は、全員が授業参観できるグルーピングを設定する)
- ・授業記録を取る  
(研究部は授業記録を必要分印刷し、事後研で配布する)

### 【ビデオ視聴】

- ・必要に応じて授業の様子を見る(ビデオ視聴を設定)

### 【参加の仕方】

- 主体的・積極的に参加できるよう…
- ・少人数(3~5名程度)でグループ協議を行う  
(研究部は事前にグループと役割を設定する)
- ・付箋に意見を書き、「改善案マトリクスシート」「学習活動マトリクスシート」にそれぞれ貼って、協議し、グループの意見をまとめる

※主事、研究部アドバイザー、研究主任等をオブザーバーとし、協議中に質問をしたり、助言を受けたりする

### 【本校の指導の考え方の再確認】

- ・他グループの発表や指導・助言を聞き、本校の指導の考え方を振り返ったり、自身の取り組みに活かせるような点を考えたりする

### 【指導力の向上】

- ・成果の報告について、自分の意見を伝えたり、他者の意見を聞いたりし、本校の指導の考え方に対する理解を深める

授業研究会を通して  
学びの深化・拡大を図る

## 授業力の向上(実践・貢献)

- 実態把握の的確さ
  - 目標設定の的確さ
  - 教材選択の的確さ
  - 題材(単元)計画の的確さ
  - 学習環境・教具の的確さ
  - 授業の展開の工夫
  - 働きかけの工夫 等
- ※本校の指導の考え方に対する理解を深める

## 授業づくりの意欲向上(改革)

本校の指導の考え方に対する理解を深めたり、他者の成果や意見を聞いたりすることで、自分もこんな仕方してみようという授業づくりの意欲を高める

## 同僚性・協働性の向上(和)

全員が参加し、積極的に自分の意見を伝え、相手の意見を聞くを通して、本校の指導の考え方に対する程度や方向性を確認・調整、共通認識し、お互いに高め合う協働的な関係を形成する